

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2023年 12月 7日
留学先大学	シェフィールド大学 (日本語名) University of Sheffield (現地言語名)
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している (以下に学部等名を記入) ※学部等名 (日本語) : 英語学部 (現地言語での名称) : English Learning Teaching Centre <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他 :
留学期間	2023年9月ー2024年7月
明治大学の所属学部等	国際日本学部 (学部/学科/研究科/専攻等)
学年 (出発時の本学での学年)	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

とにかく CAS レター (滞在先大学からの入学承諾書) を受け取ったらすぐに申請に取り組むことです。大変だったシェフィールド大学への入学手続きが一通り終わり安心してしまっすっかりビザ取得を後回しにしていたら渡航 1 ヶ月前になってしまっていてとても慌てました。ビザ申請の際にスタッフの方から渡航日に間に合わない危険性があるので 5 万円の優先サービスを勧められましたが、その場で支払える現金 5 万円すらも持っていないので、早く取得できることに賭けることしかできないくらいギリギリでした。

受け入れ先大学の CAS レター発行時期もバラバラで、1 ヶ月前になっても取得できていない人もいました。そういう場合でも、大変ですが強い精神を持ってしつこいくらいにメールを送って催促することが大切です。

II-1. 留学のための渡航前手続き (留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類 : Student Visa	申請先 : 英国ビザ申請センター
ビザ取得所要日数 : 一週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用 : £833(申請料金£363+IHS£470)

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

・ビザ申請書 (印刷) ・パスポート ・免許証 ・CAS レター (この手紙に記載されている CAS ナンバーが必要)

2. 具体的な申し込み手順を教えてください。

・オンラインでビザ申請及びビザ申請センター訪問の予約

→オンラインのビザ申請時にもものすごくたくさんの質問に答えなければいけないのですが、両親の誕生日や滞在先住所、過去 10 年間のトラベルヒストリーなど細かいところまで聞かれるので、そのような情報がすぐに確認できる環境で手続きを進めることをお勧めします。

→私は運よく一週間後の予約が空いていたので取れましたが夏期は混雑期で予約すらも取れないことがあるので気をつけてください。

・英国ビザ申請センター訪問、申請

→予約をとったとはいえ混雑期であったこともあって待合室で 2 時間ほど待たされました。順番がまわってきたらスタッフの方と一対一で日本語で少し話して、写真撮影をして終わりです。

→上記しましたが有料の優先サービスをやむ終えず利用しなければいけない場合もあるので必要だと思う方は現金を多めにもっておくといいと思います。(5 万円を払うことで 1.2 週間で取得することができます。)

→パスポートを預けることになるので、写真を撮るなりしてパスポート情報を手元に残しておくといいと思います。

・ビザ完成メールが届く、訪問日程予約

・英国ビザ申請センター再訪問、ビザ取得

→受け取るだけなので比較的すぐに終わります。私の時は 30 分ほどでした。

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

予約時間を大幅に遅れると入れてくれず予約し直しになる場合があるので気をつけてください。

東京の英国ビザ申請センターは新橋の少し分りにくいところにあるので時間に余裕を持った方がいいです。

II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

現金

日本で両替をして、とりあえず 10 万円ほど持っていきました。ほとんどカード決済で済ませているので、3 ヶ月経ったいまでも現金は半分くらいしか使っていませんし、現地に両替機があることもあるのであまり心配はしなくてもいいと思います。

薬

薬はたくさん持って行った方がいいと思います。風邪をひいて一週間ほど寝込んだことがありましたが、イギリスのどの薬よりも結局日本の薬がいちばん効きました。薬に関しては持っていきすぎなくらい持って行くことをお勧めします。

携帯電話

私は日本のアマゾンで Three というヨーロッパ通信会社の SIM をいくつか購入して持ってきたのを使っています。何個も買ってしまったので毎月 SIM を入れ替えて使っているのですが、オンラインでトプアップすることができるということを後から知りました。SIM を入れ替える度に電話番号が変わって不便なので、この方法はお勧めしません。

荷物運送

私は移動が大変だと思ったので、飛行機の預け荷物は一週間分の荷物が入ったスーツケース一つだけで渡航し、それ以外の荷物は日本から送りました。移動が比較的楽にできたのは良かったのですが、飛行機をトランスファーした際にスーツケースが一つ前の空港に置き去りにされてしまって二週間ほど手元に届きませんでした。日本から輸送した荷物に関しても、イギリスの税関に引っかかってしまって 1 ヶ月半ほど届かず、追加料金まで払うことになりました。荷物に関しては運が悪くてスムーズにいきませんでした。スーツケースで持っていくにしても輸送するにしてもメリットデメリットがあるのでよく考慮した上で決めた方がいいと思います。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ANA				
航空券手配方法	※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	羽田国際空港	現地到着時刻	London 16:20 着 Manchester 22:05 着		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	Manchester to Sheffield: 1 時間				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等イギリス国内の電車移動は比較的簡単ですが、チケット購入が遅くなればなるほど料金が高くなることがあるので早めに購入しておくことをお勧めします。シェフィールド駅から寮まではアップヒルで最短でも 25 分くらいかかるのでタクシーを利用した方が楽だと思います。

大学到着日	9 月 9 日 15 時頃
-------	---------------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他 ()
住居の申込み手順	大学のウェブサイトの Accomodation Application から申し込みました		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

特にありません

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	Orientation Week 9/11~9/15, Intro Week 9/18~9/22	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須	<input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料 (金額：)
内容の様子は？	Orientation Week は、5 日間を通して朝 9 時から夕方まで行われているさまざまなイベントに自由に参加するという形でした。イベントは全て Student Union の学生スタッフが運営し、Ice Breaker やクイズ、グループワークなどで、たくさんの人と出会う機会がありました。初日は多くの人が朝のイベントから参加していましたが、日が経つにつれお昼頃から参加する人が増えた印象です。 Intro Week は主に Campus Tour や Society 紹介です。	
留学生用特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった	<input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月 25 日から	

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて**1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？**

シェフィールド大学の学生証と、Biometric Residence Permit(BRP)の発行を行う必要があります。基本的には大学からのメールに記載されている通りオンラインで予約してキャンパス内で行うことができます。予約をしても全留學生が同じことを同じ時期にするので1時間以上並ぶこともあります。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等) いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特にありません。(体調を崩して病院にいきたい時などは現地のGP(かかりつけ医)を登録しますが、登録しなくても問題はありません。)

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

していません。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

していません。

V. 履修科目と授業について**1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？**

出発前に(8月5日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に()月()日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留學生として優先されることはありましたか？

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？**優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？**

どの授業や学部も英語能力テスト(私の場合はIELTS)のスコアの基準が設けられていて、自分のスコアがその条件を満たしている授業を選択します。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

授業の最初の2週間ほどはAdd&Drop期間と言って仮参加のような形で授業を受けることができます。初回授業を受けてみて変更したい場合はこの期間内であれば変更可能です。

Ⅵ. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00	授業	授業		授業	授業	遊び	遊び
11:00	授業	授業	授業	授業	授業	遊び	遊び
12:00	授業	授業	授業	授業	授業	遊び	遊び
13:00	ランチ	ランチ	授業	ランチ	ランチ	遊び	遊び
14:00	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	遊び	遊び
15:00	勉強	授業	ランチ	勉強	遊び	遊び	遊び
16:00	勉強	授業	勉強	勉強	遊び	遊び	遊び
17:00	勉強	授業	勉強	勉強	遊び	ジム	遊び
18:00	勉強	ジム	勉強	勉強	遊び	ジム	遊び
19:00	自炊	ジム	自炊	ジム	ディナー	遊び	遊び
20:00	自炊	自炊	自炊	ジム	ディナー		
21:00	自炊	自炊		自炊	パーティー		
22:00				自炊	パーティー		
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

ロンドンやマンチェスターなどの大都市に比べてシェフィールドは比較的田舎ですが、物がなくて困ることはないですし、程よく自然もあって、大都会すぎず田舎すぎないこの町をとて気に入っています。イギリス以外の他国のヨーロッパ色が強い大学と比べると地味に見えてしましますが、一応 Red Brick Universities のうちの一つでもあるのでヨーロッパの大学らしい赤レンガ作りの校舎もあって雰囲気を感じることもできます。シェフィールド自体が大学を中心にしてできている町なので、町全体が学生に溢れていて、学生に優しく住みやすい町だと思います。

私の住んでいる寮は街の中心部に近かつキャンパスにも近い Allen Court という寮で、他の寮に比べて少し高いですが、1 人部屋は十分広くフラット自体も 6 人でキッチンを快適にシェアできるくらいには広くて申し分ないです。お風呂はシャワーしかなく湯船に浸かることができないので温泉がとても恋しくなります。この寮は International Students と Freshers が多く住んでいる印象で、Common Room でたくさんの住人と出会ったり遊んだりすることができます。

イギリスに来て受けた 1 番のカルチャーショックは食文化の違いです。イギリスのご飯は興味深いほどに美味しくなくて日本食の素晴らしさを改めて実感しました。イギリスで外食をしようとする価値が高い上に美味しくないので自炊は欠かせません。TESCO というスーパーマーケットがメジャーですが、アジアンマーケットもあって日本や中国や韓国の調味料や食材なども買うことができますので、日本の味を再現できますし、それぞれの国のご飯を作って友達とシェアできたら、とてもいい異文化交流の機会になると思います。

しかしイギリスのパブ文化は最高で、多くの人が気軽に立ち寄って仲間と会話をしたりビリヤードをしたりフットボールを観戦したり、ライブパフォーマンスがあったり、日本とはまた少し違うお酒の楽しみ方と空間があっっておもしろいです。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

留学先大学を決めるとき、イギリスに行くことを念頭に置きすぎていて他のことをあまり考えていなかったのですが、日本人学生の割合を考慮することも大事だと思いました。シェフィールド大学は多くの留学生を受け入れていてとても国際色豊かな分、日本人学生も思っていたより多くいて、日本語に触れる機会が必然的に多くなってしまいます。同じ国籍の仲間がいることで助けられることもたくさんありますが、日本人が全くいない環境で英語にどっぷり浸かりたい、イギリス英語を取得したいと考えている人は、学生の国籍の割合も参考にしてみるといいかもしれません。

この 3 ヶ月で最も感じたことは、英語がのびるかどうかは自分の努力次第だということです。イギリスにいても日本語を使おうと思えばいくらでも使えますし、逆に英語を使うのが最低限でいいと思えば全然使わなくても生きていけてしまいます。自分がどれほど積極的に外国人の友達を作ろうとするか、どれだけ彼らと関わろうとするかによって大きな差が生まれます。よく聞く話かもしれませんが、留学に行ったら、他国に身を置いたら勝手に成長するものではないということを身をもって実感しています。ただ、留学は英語が全てではなくて、全く知らない土地に知らない人たちに囲まれて生活をするということが前提にあります。食も気候も言語も、自分にとって新しいその全てが刺激になると同時に、無意識のうちにストレスにもなります。

自分 1 人で生きていく力を少しでも多く身につけて自立した人間になることも留学に向けた準備の一つになるのではないのかなと思います。